

# 学会通信

第4号

会員の皆さまへ

理事長 米山 文明

学会通信第4号をお届けいたします。

発刊以来1年余になりました。皆さまのご感想は如何ですか。いろいろ工夫しているつもりですが、少人数の智慧には限界があります。衆知を集めて向上をはかりたいと思います。どしどしご提案をください。皆さまのご意見の発表、活動状況を周知させる場でもありますのでご利用ください。

学会も例会・研修会・研究会などの部門で少しずつ成果をあげつつあると思っています。

今期は新入会の有力メンバーも増えつつありますが、一方で主要なメンバーも失いました。8月研修会の直前の上浪会員につづき、11月例会直前に学会発足以来の有力メンバーであられた顧問の伊藤亘行会員が11月10日突然逝去されました。痛恨の極みであり、会員一同で謹んで感謝と哀悼の意を捧げたいと思います。

11月25日は恒例のコンサートが、宮原、川村両理事のご尽力で盛大に行われ、ベテランと新鋭の華麗な競演でした。オッカー先生も遠路ご参加いただき、開会を飾る格調高い演奏は掉尾を締めくくった宮原会員の名演と共にコンサートの起承転結を見事にまとめられました。

(1) 各委員会活動では、教育部門が永井委員を中心に最も積極的に動いております。これまであまりにも未開拓の分野だけにすることが多すぎて、何から手をつけてよいか迷うほどです。

この分野は地域も階層も広汎にわたるため、かなりの労力と時間がかかりますが、着実に一歩ずつ成果を積み重ねていきたいと念じています。皆さまのご意見ご協力を切にお願いいたします。

8月の研修会で講師にいられた上越教育大学の小川助教授も学会に入会され、今後強力な戦力になっていただけます。先日、教育部門の委員会にお招きして集会を持ちました。興味ある話題が続出し、委員会だけではもったいないことなので来る3月の研究会にオープンの討論会を企画しました。ご意見、ご興味のおありの方はどうぞご参加ください(詳細は本号3頁に)。教育部門の動向につきましては、学会誌31号に詳しく掲載予定です。

なお、8月の夏季研修会の中で世界主要国での「発声教育」の実態を、それぞれの国の事情に詳しい方に講演していただき、討論時間を加えた上でこれからの日本での教育がどうあるべきかの検討資料にしたいと考えています。

(2) 用語委員会も3回開かれ、討議を重ねています。その一部を理事会に諮った後、学会誌31号でお知らせいたします。これも会員皆さまのご意見もかなりあるかと思っておりますので、検討の上で決めたいと思います。

いつもお願いですが、会員の皆さまの例会での研究発表、学会誌へのご投稿、学会へのご意見を期待しております。

## ◎平成15年度の主な行事

- 1、総会・5月例会 5月25日(日)  
於東京芸術大学
- 2、夏季研修会 8月18・19日  
於日本福音ルーテル東京教会  
講師 ハイルマンほか
- 3、11月例会 11月30日(予定)  
於東京芸術大学  
特別講演—公開レッスンとお話—  
講師 松本美和子

## 【Q&A】

ドクターからの健康メモ

### 《扁桃腺をとる？とらない？》

外来診療で歌手の方々から時々「私は扁桃炎の増悪を繰り返すのですが、手術すべきでしょうか」という質問を受けます。

口蓋扁桃(俗称扁桃腺)はリンパ腺の一種で、正常に機能すれば外部から口の中に入ってくる雑菌の感染を防御してくれる役割をしています。ところが炎症を反覆しているうちに扁桃内部に菌の病巣を残してしまうことがあります。そうすると体力が弱ったり、ちょっと風邪をひいたりすると、その菌が急に活動を再発し、発熱や全身症状をおこすひきがねになります。あるいは病巣内の菌(溶連菌)が血液中に溶け込んで全身に散らばり、いろいろな組織(腎臓、関節その他)に付着して、そこで発病する危険を持っています。

私たち専門医はその対応の仕方として、手術の目安として次の3点を参考にします。

①扁桃の大きさ: 大きさだけの規準としては両側の口蓋扁桃が中央で接着するほどのもの(小児では時々あります)。呼吸や摂食に支障がある場合以外は手術の対象にはしません。

②急性増悪の頻度: 年に2~3回程度なら問題ありません。1~2ヶ月に1回程になると仕事(試験や演奏)に支障がおきますから、一応検討する必要があります。

③扁桃の大きさ、頻度に問題がなくても、全身のどこかに内科的な異常があり、扁桃との関連が考えられる場合(たとえば原因不明の微熱、尿に蛋白、関節痛その他)、つまり扁桃内の菌が血行性に影響していると考えられる場合は、手術の適応になります。この場合は内科的に血液、尿の検査で簡単にチェックできます(ただし、急性増悪時でなく、平常の時でないとう参考になりません)。

30歳過ぎて扁桃摘出術を受けた歌手はかな

りおります(たとえばフィッシャーディスカウなど)。信頼できる医師の執刀なら声への心配はほとんどありません。(F.Y.)

### ◆マーヴィン・ケンジー教授特別講座◆

4月7日(月) 日本福音ルーテル東京教会

・10:00~12:00 講義

ヴォコロジー(Vokology 音声生理学と発声法)について

・13:00~18:00 個人レッスン

[参加費] 聴講(午前・午後)各 2,000円

(終日) 3,000円

個人レッスン 18,000円

1時間。30分も可(9,000円)。伴奏各自同伴。

(4月8日は、個人レッスンをお願いしています。午前は山田宅、午後には川上宅。希望者多数の場合は、別日も可)

### ◆合唱クリニック◆

4月10日(木) 19:00~21:00

指導 マーヴィン・ケンジー教授

・東京バプテスト教会(渋谷区鉢山9-2)

[参加費] 1,000円

他に楽譜実費 300円

当日、直接会場へお出ください。

※上記2件のお問い合わせは、山田実まで。

TEL. 03-3726-1439

### 新刊案内

・声の呼吸法—美しい響きをつくる

米山文明著(平凡社)

[近刊]

・Voice Power Ronee Grant William

米山文明監修(ダイヤモンド社)

[支部だより]

◇長野支部 第52回例会

- ・と き 3月21日(金・祝) 13:00~16:30
- ・ところ 長野市三輪公民館
- ・内 容 「歌のうたい方」 池田 京子  
「太極拳と呼吸」 北村きみよ

◇関西支部 2003年度総会および第29回例会

- ・と き 4月20日(日) 9:30~16:10
- ・ところ 相愛学園本町学舎
- ・内 容 スィンギング フォルマント 藤木 暢也  
ファルセットから実音への訓練法 中條 博之  
ヴォイストレーニング 横川 味知  
演奏とお話 廣崎あけみ・田中 勉

研究会開催のお知らせ

下記により研究会を開催いたしますので、皆さまお誘いあわせのうえ、どうぞご出席くださるようご案内いたします。

- ・と き 3月30日(日) 午後2時~4時30分(開場1時40分)
- ・ところ 東京文化会館4階中会議室 (JR上野駅下車「公園口」改札口を出て目の前の建物)
- ・テーマ わが国とアメリカにおける音楽科教員養成カリキュラムの比較
- ・講 師 小川昌文(上越教育大学助教授、本学会会員)
- ・受講料 正会員 2,000円、その他一般 2,500円(当日納入)
- ・定 員 40名(先着順)
- ・申込方法 ハガキまたはFAX.でお名前と連絡先のTEL. FAX.を明記して下記の事務局まで。  
3月27日(水)締め切り。

なお、締め切り後も定員に余裕があるときは受け付けます。

- ・お問合わせ 〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方

日本声楽発声学会事務局 TEL./FAX. 047-479-5701

[小川昌文先生プロフィール]

上越教育大学助教授。音楽教育学博士(インディアナ大学)。高松第一高校を経て、東京芸術大学音楽科卒業、同大学院音楽研究科音楽教育専攻修了。インディアナ大学音楽学部博士課程音楽教育専攻修了。専門分野：音楽教育学、合唱。研究テーマ：(1)音楽教育の哲学的研究—プラクシスによる音楽教育の理念。(2)音楽教員養成—教員養成の国際比較、音楽の学びの成立。(3)合唱と音楽教育の関連—理念と実践。

◆会員からの手紙◆

拝啓 先日の学会（第75回11月例会）に参加し、思いを新たにしましたので、お願いを兼ねてお便りさせていただきます。

春の学会から随分経ってはいますが、あの日の（5月26日）ウーヴェ・ハイルマン、中村智子夫妻のレッスンと演奏には非常に深い感銘を受けました。

今日まで何度か公開レッスン・演奏を聴講して参りましたが、過去にコレほど内容の濃いものはなく、終始集中力の途切れることはありませんでした。特にハイルマン氏のレッスンは氏の音楽に対する真摯な姿勢と知識、そして温かな人柄もあって音楽に携わる喜びを実感させてくれるひと時でした。

改めて人を導く姿勢や方法・資質について深く考えさせられた次第です。ぜひ、ハイルマン夫妻の再度の招聘をお願いいたします。 敬具

12月16日 (S氏)

◎平成15年総会・5月例会開催のお知らせ

5月例会・総会を下記により開催いたします。会員の皆さまはもとよりお知り合いの方や生徒さんをお誘いの上、ご出席ください。

- 1、と き 5月25日(日)  
10:00～16:45
- 2、ところ 東京芸術大学音楽学部
- 3、プログラム
  - A、研究発表 河合孝夫・米山文明  
和田みのり・上原隆二
  - B、総会
  - C、特別講演 講師 今藤文子(長唄)
  - D、フリートーク
  - E、現役声楽家の演奏とお話  
ソプラノ 鮫島有美子

〔会員日より〕 ◆演奏会◆

◇ヴィクトリア ファミリー コンサート

- ・と き 2003年4月11日(金)
- ・ところ 神奈川県立音楽堂
- ・出演 指揮 川上勝功  
演奏 ヴィクトリア・コンソート
- ・チケット 2,000円(全席自由)

長年にわたり川上先生にご指導いただいております5つの合唱団による「還暦お祝い」のコンサートです。本学会会員、関係の方も多数出演いたします。

(※連絡先 045-431-3358 千坂豊子)

◇口語日本語によるマタイ受難曲(抜粋)

- ・と き 4月18日(聖金曜日)午後7時
- ・ところ 日本福音ルーテル東京教会(無料)
- ・出演 牧野成史(エヴァンゲリスト)  
北村哲朗(イエス)  
幸田直代(ソプラノ)  
高橋真理(アルト)他  
翻訳、編曲、指揮 山田 実

〔事務局より〕

◎Q&A欄を新設しました。医療問題に限らず、どしどし質問をお寄せください。

◎平成15年11月例会「研究発表」募集中！「研究発表規定」によりお申し込みください。締め切りは5月25日(日)5月例会当日です。

◎会員の皆さまからの「学会通信」への投稿をお待ちしております(誌上での匿名可)。第5号の原稿締め切りは9月末日、事務局必着です。近況報告(演奏会、研究会etc.)や出版、CD制作等、日ごろの活動の様子などお寄せください。

(事務局長 川上勝功)

学会通信 第4号

平成15年3月15日発行

日本声楽発声学会事務局

〒275-0005 習志野市新栄2-9-2 西村暁子方

TEL/FAX. 047-479-5701 E-mail jars@alto.ocn.ne.jp